

第8節 小児科研修

1. 面接、指導

一般目標

小児ごとに乳幼児への接触、親(保護者)から診断に必要な情報を的確に聴取する方法および指導方法を身につける。

具体的目標

- ① 小児ごとに乳幼児に不安を与えないように面接することができる。
- ② 親(保護者)から、発病の状況、心配となる症状、患者の生育歴、既往歴、予防接種などを要領よく聴取できる。
- ③ 親(保護者)に対して、指導医とともに適切な症状を説明し治療の説明ができる。

2. 診察

一般目標

小児に必要な症状と所見を正しくとらえ、理解するための基本的知識を習得し、伝染性疾患の主症状および緊急処置に対処できる能力を身につける。

具体的目標

- ① 小児の正常な身体発育、精神発達、生活状況を理解し判断できる。
- ② 小児の年齢差による特徴を理解できる。
- ③ 視診により、顔貌と一般状態、栄養状態を判断し、発疹、咳、呼吸困難、チアノーゼ、脱水症の有無を確認できる。
- ④ 乳幼児の咽頭の視診ができる。
- ⑤ 発疹のある患者では、発疹の所見を述べることができ、日常遭遇することの多い疾患(麻疹、風疹、突発性発疹症、水痘、溶連菌感染症など)の鑑別を説明できる。
- ⑥ 下痢患者では、便の症状(粘液、血液、膿等)を説明できる。
- ⑦ 嘔吐や腹痛のある患児では、重大な腹部所見を説明できる。
- ⑧ 咳をする患児では、咳の性状と呼吸困難の有無を説明できる。
- ⑨ 痙攣や意識障害のある患児、気道症状のない高熱の患者では、髄膜刺激症状を調べることができる。

3. 手技

一般目標

小児ごとに乳幼児の検査および治療の基本的な知識と技術を身につける。

具体的目標

- ① 単独または指導者の下で採血できる。
- ② 皮下注射ができる。
- ③ 指導者のもとで新生児、乳幼児の筋肉注射、静脈注射ができる。
- ④ 指導者のもとで輸液ができる。

4. 薬物療法

一般目標

小児に用いる薬剤の知識と薬剤量の使用法を身につける。

具体的目標

- ① 指導者の下で小児の年齢区分の薬剤量を理解し、それに基づいて一般薬剤(抗生物質を含む)を処方できる。
- ② 指導者の下で年齢、疾患等に応じて補液の種類、量を定めることができる。

5. 小児の救急

一般目標

小児に多い救急疾患の基本的知識と手技を身につける。

具体的目標

- ① 指導者の下で喘息発作の応急処置ができる。
- ② 指導者の下で脱水症の応急処置ができる。
- ③ 指導者の下で痙攣の応急処置ができる。

前項 1.~5.において

実臨床研修

- ・ 1ヶ月の研修期間において、東京大学医学部附属病院にて研修を行う。
- ・ 新生児室回診:新生児の診察、検査、カルテ記載を行い、指導医と治療方針を決定する。
- ・ 外来研修:予防接種、乳幼児健診、救急患者対応の他、処置や検査など指導医と行う。
- ・ 抄読会:小児科領域に関する論文を1本提示する。
- ・ カルテカンファ:各症例について指導医と討論を行い、フィードバックを受ける。

研修評価

- ・ 指導医が日常診療を通じ、知識・問題解決能力等を評価する。

・ ■週間スケジュール 小児科

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務		
午後	病棟業務	チャート回診 病棟業務 カンファレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務 カンファレンス		

第13節 小児科〔選択科向け研修〕

一般目標

指導者のもとで、小児科の診療の中で頻度が高い疾患について診断治療ができる。小児の救急疾患について、緊急性を判断して対応できる。必要に応じ、専門医へ適切な紹介ができる。また、周産期医療に関わり、児の年齢的特殊性を理解する。

具体的目標

- ① 正常新生児の診察をし、所見を的確に述べるができる。軽症の病的新生児の診断・治療ができる。
- ② 小児痙攣性疾患の診断・治療につき理解できる。
- ③ 小児ウイルス感染症の診断、治療ができる。
- ④ 小児細菌感染症の診断、治療ができる。
- ⑤ 小児気管支喘息の発作程度を判断し、的確な治療ができる。
- ⑥ 先天性心疾患の所見を正しく把握し、診断について説明できる。
- ⑦ 乳幼児健診や予防接種などの予防医療の理念を理解し、患者家族の心理社会的側面への配慮ができる。

実臨床研修

- ・ 入院患者の主治医として、診察、検査、カルテ記載、治療方針を決定し、保護者への説明を行う。
- ・ 外来患者の予防接種、乳幼児健診の他、新患や救急患者の初期対応を行い、治療方針を決定し、保護者への説明を行う。
- ・ 症例検討会で発表する。

研修評価

- ・ 指導医が日常診療を通じ、総合診療能力、育児支援の姿勢、学識獲得努力等を評価する。
- また、選択科として東京大学医学部附属病院(小児科)での研修を希望することが出来る。

■週間スケジュール 小児科

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務	ミーティング 病棟業務		
午後	病棟業務	チャート回 診 病棟業務 カンファレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務 カンファレンス		